

8.3 生物・生態系

8.3.1 調査事項

調査事項は、表 8.3-1 に示すとおりである。

表8.3-1 調査事項(東京2020大会の開催後)

区 分	調査事項
予測した事項	<ul style="list-style-type: none"> ・陸上植物の植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度 ・陸上動物の動物相及び動物群集の変化の内容及びその程度 ・生育・生息環境の変化の内容及びその程度 ・生態系の変化の内容及びその程度
予測条件の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・既存緑地の改変の程度 ・緑化計画
ミティゲーションの実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・緑化計画は、江東区みどりの条例における緑化基準（地上部緑化面積約50,000m²、接道部緑化延長約1,170m）を満たす地上部緑化約82,000m²、接道部緑化約1,280mとする計画としている。 ・辰巳の森海浜公園との連続性を確保し、高木、中木等を植栽する計画としている。 ・植栽樹種は、辰巳の森海浜公園に生育している樹種を参考として、既存公園部分との調和や連続性を意識し、風景に変化を与える計画地に適した樹種を選定する計画としている。 ・十分な植栽基盤（土壌）の必要な厚みを確保する。

8.3.2 調査地域

調査地域は、計画地及びその周辺とした。

8.3.3 調査手法

調査手法は、表 8.3-2 に示すとおりである。

表8.3-2 調査手法(東京2020大会の開催後)

調査事項	<ul style="list-style-type: none"> ・陸上植物の植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度 ・陸上動物の動物相及び動物群集の変化の内容及びその程度 ・生育・生息環境の変化の内容及びその程度 ・生態系の変化の内容及びその程度 	
調査時点	東京2020大会の開催後(2021年度)とした。	
調査期間	予測した事項	施設竣工後の2022年2月とした。
	予測条件の状況	施設竣工後の2022年2月とした。
	ミティゲーションの実施状況	施設竣工後の2022年2月とした。
調査地点	予測した事項	計画地及びその周辺とした。
	予測条件の状況	計画地及びその周辺とした。
	ミティゲーションの実施状況	計画地及びその周辺とした。
調査手法	予測した事項	任意踏査による植生の状況及び緑化計画図の整理による方法とした。
	予測条件の状況	現地調査(写真撮影等)及び緑化計画図の整理による方法とした。
	ミティゲーションの実施状況	現地調査(写真撮影等)及び緑化計画図の整理による方法とした。

8.3.4 調査結果

(1) 調査結果の内容

1) 予測した事項及び予測条件の条件

ア. 陸上植物の植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度

事業の実施に伴い、計画地内の植物の生育地は改変されたが、計画地周辺には、辰巳の森海浜公園の開園地内に計画地と同様の草地環境や樹木が広く生育しており、これらの植生は事業による改変は生じない。

事業の実施に当たっては、辰巳の森海浜公園全体として江東区みどりの条例における緑化基準(地上部緑化面積約 50,000m²、接道部緑化延長約 1,170m)を満たす地上部緑化約 81,400m²、接道部緑化約 1,173m の緑地の整備を行う。また、植栽樹種は、辰巳の森海浜公園に生育している樹種を参考として、既存公園部分との調和や連続性を意識し、風景に変化を与える計画地に適した樹種を選定することから、周辺地域を含めた植物相及び植物群落は維持されるものと考えられる。

イ. 陸上動物の動物相及び動物群集の変化の内容及びその程度

事業の実施に伴い、樹林や草地を主たる生息地とする鳥類、は虫類、バッタ目、コウチュウ目、ハエ目等の昆虫類や移動性の低い土壌動物等の生息地が改変されたが、計画地周辺には、辰巳の森海浜公園の開園地内に計画地と同様の草地環境や樹木が広く生育しており、これらは事業による改変を生じない。

また、事業の実施に当たっては、辰巳の森海浜公園との連続性を確保し、辰巳の森海浜公園全体として江東区みどりの条例における緑化基準(地上部緑化面積約 50,000m²、接道部緑化延長約 1,170m)を満たす地上部緑化約 81,400m²、接道部緑化約 1,173m の緑地を整備することにより、新たに創出される緑地と周辺地域を含めた動物相及び動物群集は維持されるものとする。

ウ. 生育・生息環境の変化の内容及びその程度

事業の実施に伴い、計画地内の動植物の生育・生息環境となる草地環境、樹木等は伐採され、土壌が改変されたが、計画地周辺には、辰巳の森海浜公園内に計画地と連続して草地環境や樹林環境が広く分布しており、これらの動植物の生育・生息環境は事業による改変を生じない。また、計画地南側の辰巳の森緑道公園や東側の夢の島公園には、事業による改変を受けない草地環境や樹林環境が広く分布する。

さらに、事業の実施に当たっては、辰巳の森海浜公園全体として江東区みどりの条例における緑化基準(地上部緑化面積約 50,000m²、接道部緑化延長約 1,170m)を満たす地上部緑化約 81,400m²、接道部緑化約 1,173m の緑地の整備により新たな動植物の生育・生息環境が創出されることから、周辺地域も含めた動植物の生育・生息環境は維持されるものとする。

エ. 生態系の変化の内容及びその程度

事業の実施に伴い、計画地内の動植物の生育・生息環境となる草地環境、樹木等が伐採されたが、計画地周辺には、辰巳の森海浜公園の開園地内に計画地と同様の草地環境や樹木が広く生育しており、これらの動植物の生育・生息環境は事業による改変を生じない。また、計画地南側の辰巳の森緑道公園や東側の夢の島公園には、事業による改変を受けない草地環境や樹林環境が広く分布する。

また、事業の実施に当たっては、辰巳の森海浜公園との連続性を確保し、江東区みどりの条例における緑化基準（地上部緑化面積約 50,000m²、接道部緑化延長約 1,170m）を満たす地上部緑化約 81,400m²、接道部緑化約 1,173m の緑地を整備することより、周辺地域を含めた生態系は維持されるものとする。

2) ミティゲーションの実施状況

ミティゲーションの実施状況は、表 8.3-3 に示すとおりである。なお、生物・生態系に関する問合せはなかった。

表8.3-3 ミティゲーションの実施状況（東京2020大会の開催後）

ミティゲーション	・緑化計画は、江東区みどりの条例における緑化基準（地上部緑化面積約 50,000m ² 、接道部緑化延長約 1,170m）を満たす地上部緑化約 82,000m ² 、接道部緑化約 1,280m とする計画としている。
実施状況	緑化計画は、江東区みどりの条例における緑化基準（地上部緑化面積約 50,000m ² 、接道部緑化延長約 1,170m）を満たす地上部緑化約 81,400m ² 、接道部緑化約 1,173m の緑地を整備する。
ミティゲーション	・辰巳の森海浜公園との連続性を確保し、高木、中木等を植栽する計画としている。
実施状況	辰巳の森海浜公園との連続性を確保し、高木及び地被類による植栽を行う予定である。
ミティゲーション	・植栽樹種は、辰巳の森海浜公園に生育している樹種を参考として、既存公園部分との調和や連続性を意識し、風景に変化を与える計画地に適した樹種を選定する計画としている。
実施状況	植栽樹種は、辰巳の森海浜公園に生育している樹種を参考として、既存公園部分との調和や連続性を意識し、風景に変化を与える計画地に適した樹種を選定する予定である。
ミティゲーション	・十分な植栽基盤（土壌）の必要な厚みを確保する。
実施状況	植栽を施す地盤の土壌は、樹種と生育状況に応じた必要な植栽基盤を確保する。

(2) 予測結果とフォローアップ調査結果との比較検討

1) 予測した事項

ア. 陸上植物の植物相及び植物群落の変化の内容及びその程度

事業の実施に伴い、計画地内の植物の生育地は改変されるものの、計画地周辺には、辰巳の森海浜公園の開園地内に計画地と同様の草地環境や樹木が広く生育しており、これらの植生は事業による改変は生じない。

事業の実施に当たっては、辰巳の森海浜公園全体として江東区みどりの条例における緑化基準(地上部緑化面積約 50,000m²、接道部緑化延長約 1,170m)を満たす地上部緑化約 81,400m²、接道部緑化約 1,173m の緑地の整備を行う。また、植栽樹種は、辰巳の森海浜公園に生育している樹種を参考として、既存公園部分との調和や連続性を意識し、風景に変化を与える計画地に適した樹種を選定したことから、周辺地域を含めた植物相及び植物群落は維持されるものと考えられる。

以上のことから、予測結果とフォローアップ調査結果は、概ね一致するものと考えられる。

イ. 陸上動物の動物相及び動物群集の変化の内容及びその程度

事業の実施に伴い、樹林や草地を主たる生息地とする鳥類、は虫類、バッタ目、コウチュウ目、ハエ目等の昆虫類や移動性の低い土壌動物等の生息地が改変されるものの、計画地周辺には、辰巳の森海浜公園の開園地内に計画地と同様の草地環境や樹木が広く生育しており、これらは事業による改変を生じない。

また、事業の実施に当たっては、辰巳の森海浜公園との連続性を確保し、辰巳の森海浜公園全体として江東区みどりの条例における緑化基準(地上部緑化面積約 50,000m²、接道部緑化延長約 1,170m)を満たす地上部緑化約 81,400m²、接道部緑化約 1,173m の緑地を整備することにより、新たに創出される緑地と周辺地域を含めた動物相及び動物群集は維持されるものとする。

以上のことから、予測結果とフォローアップ調査結果は、概ね一致するものと考えられる。

ウ. 生育・生息環境の変化の内容及びその程度

事業の実施に伴い、計画地内の動植物の生育・生息環境となる草地環境、樹木等は伐採され、土壌が改変されるものの、計画地周辺には、辰巳の森海浜公園内に計画地と連続して草地環境や樹林環境が広く分布しており、これらの動植物の生育・生息環境は事業による改変を生じない。また、計画地南側の辰巳の森緑道公園や東側の夢の島公園には、事業による改変を受けない草地環境や樹林環境が広く分布する。

さらに、事業の実施に当たっては、辰巳の森海浜公園全体として江東区みどりの条例における緑化基準(地上部緑化面積約 50,000m²、接道部緑化延長約 1,170m)を満たす地上部緑化約 81,400m²、接道部緑化約 1,173m の緑地の整備により新たな動植物の生育・生息環境が創出されることから、周辺地域も含めた動植物の生育・生息環境は維持されるものとする。

以上のことから、予測結果とフォローアップ調査結果は、概ね一致するものと考えられる。

エ. 生態系の変化の内容及びその程度

事業の実施に伴い、計画地内の動植物の生育・生息環境となる草地環境、樹木等が伐採されるものの、計画地周辺には、辰巳の森海浜公園の開園地内に計画地と同様の草地環境や樹木が広く生育しており、これらの動植物の生育・生息環境は事業による改変を生じない。ま

た、計画地南側の辰巳の森緑道公園や東側の夢の島公園には、事業による改変を受けない草地環境や樹林環境が広く分布する。

また、事業の実施に当たっては、辰巳の森海浜公園との連続性を確保し、江東区みどりの条例における緑化基準（地上部緑化面積約 50,000m²、接道部緑化延長約 1,170m）を満たす地上部緑化約 81,400m²、接道部緑化約 1,173m の緑地を整備することより、周辺地域を含めた生態系は維持されるものと考えられる。

以上のことから、予測結果とフォローアップ調査結果は、概ね一致するものと考えられる。